

学校だより

NO. 17

若葉っ子だより

平成23年2月10日
尼崎市立若葉小学校

残念！地区バスケットボール大会

2月4日(金)、大庄小学校で大庄地区7小学校が一堂に会してバスケットボール大会が行われました。本校も12月から練習を始め、直前には5年生の協力で試合を行い、この大会に臨みました。しかし、残念ながら、男子も女子も1回戦で敗退してしまいました。特に男子は力負けする相手ではなかっただけに、見ている者にとっても、悔しい結果となりました。もう少しチームプレーに徹していたらという思いもあります。チームのために自分のできることをしっかりやること、また、ひとりでボールをキープするのではなく、友達を信じて、パスをつなぎ、シュートにもっていくことが大事だということが分かれば、この負けはとても価値のあるものだと思います。



6年生はあと26日通うと卒業です。低学年の時には2学級でしたが、多少の転出入はあっても3年生以降は1学級でずっと同じ友達と過ごしました。友達の良さもクセもよく分かっていることでしょう。小学校生活で一番大きく最後の行事である卒業式に向けて、やり残しの無いよう、悔いの残らないよう、残された日々を仲間(友達)といっしょにがんばってほしいと思います。

おまけ: バスケットの相手は男女共に成文小学校でしたが、成文小学校が優勝したことをみると、若葉小学校は準優勝に匹敵すると思ってもいいでしょう。(校長先生のひいき目かな?)

【「1.17は忘れない」地域防災訓練の結果】

1 参加状況

保護者参加家庭数 88/121世帯(72%)
集団下校児童数 30/162人
地域住民参加数 16人

2 アンケート提出数 67/121世帯(55%)

①避難訓練について

- 子どもたちが、真剣に取り組んでいたと感じた。大人の方が、もう少し緊迫感をもって行動しないといけないと思った。
- この地区は海も近いので、今回のように津波を考えた訓練が行われたことは良かった。子どもたちは、地震の恐ろしさを全く知らないなので、地震＝津波という訓練は良かったと思う。



- ・ 昨年の訓練より、細かいところまで決められていて良かった。
- ・ 行動は迅速で良かったが、集合して待機の際に雑談が多かった。
- ・ 訓練は訓練だと思った。しゃべっている子も多くいたし、移動にも時間がかかっていたと思う。実際の場合は恐怖でパニックになると思う。でも、地震の時は机の下と覚えていれば命を守れると思った。
- ・ 震災の映画などを実際に鑑賞すると、もっと恐怖感が実感できると思う。(→映像を使うこともあります。)
- ・ 先生方がてきぱきと指図されていて緊張感があったので、実際に避難しなければいけない時も安心して任せられると安心できた。
- ・ 運動場に避難した後、頭を守るものを持った方がいいと説明があった。幼稚園の時は、子ども一人一人に防空頭巾が配られ、普段は座布団として使用していた。阪神大震災以降ずっと続けられている。小学校でも取り入れるといいと思う。(→職員マニュアルでは、手近な体操服入れや教科書等で頭を守ることとしています。防空頭巾兼用座布団は育友会とも話し合ってみます。)
- ・ 初めての訓練だったので、要領があまり分らなかった。1年生の保護者には、内容がもう少し分かりやすいプリントを配ってほしい。(→分かりやすいお知らせの方法を考えていきます。)
- ・ 実際に起きたときにも、すぐ動けるように日頃から動き方を教えておいてほしい。↑
- ・ 津波の時、地域の方が避難されると混雑すると思うので心配だ。(→本校を含め、尼崎市立小学校は全て地域の避難所に指定されています。従って、本当の津波の時にはもっと大勢の地域の方の避難を受け入れます。津波の場合の避難場所は鉄筋の3階以上となっていますので、本校舎、東校舎、西校舎を全て使います。児童が学校に在校中は教職員が対応できますが、休日や夜間は教職員がすぐには対応できません。そのため、市防災対策課が校門と校舎の開錠をしていただく地域の方お二人を決めています。狭いけれどもみんなで譲り合って、一時的に避難し、市県国の救助を待つことになります。)

②引き渡し訓練について

- ・ 確認の時に「どなたですか？」と聞くより、「お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんですか？」と聞いてもらえれば返事がしやすいと思う。
- ・ 確認されている先生を囲んで、名前を言った方が先のような状況が見うけられたが、実際の場合にはもっとパニックになるので、約束を守らせて確認する訓練をしてもらいたい。
- ・ 地区のプラカードはずっと上げていた方が分かりやすいと思う。
- ・ 引き渡し訓練に親が参加できない子どもたちは、後回しになることが、かわいそうな気がした。
- ・ 実際の場合に、子どもを迎えに行く時間が夜になるなら、何時まで預かってもらえるのか。(→実際の場合には、何時まででも待ちますよ。)

③その他

- ・ 初めて訓練に参加したが、あの1.17の大震災のことを忘れない意味でもこの訓練は続けてほしい。
- ・ 起こってみないと分からないことは、たくさんあると思うが、色々なことを想定して訓練したり、この時期に被災された方々のことを考えたり、話し合ったりすることが大切と思う。
- ・ 昨年に比べ、子どもの意識が高くなっていて、地震の時の状況等を進んで聞いてきて、「今自分にできることは何？」と言っていた。家族で話し合う機会になった。(→すばらしいですね)
- ・ 普段は、震災のことを話す機会がないので、訓練や集まってから聞いた話も大事だと思った。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

【保健委員会の児童劇から】

- 1 トイレの後は必ず手洗い
- 2 ハンカチ、ティッシュを忘れない
- 3 給食前には必ず手洗い、外遊びの後はいがいと手洗い
- 4 髪の毛は清潔にコンパクトに
- 5 手の爪は1週間に1回、足の爪は2週間に1回切る
- 6 肌着は清潔に毎日交換
- 7 給食当番は必ずきれいな(清潔な)マスクをつけよう

保健委員会の児童が全校生対象の保健集会と学校保健委員会で劇を見せてくれました。この7つを守るようにと締めくくりましたよ。